

子どもの病気について ～症状に合わせた対応～

感染症にかかった場合の登所に際しては、

①保育所内での感染症の集団発生や流行につながらないこと、

②健康（全身）状態が保育所での集団生活に適應できる状態に回復していること

に留意が必要です。登所を控えることが望ましい場合は、医療機関を受診し家庭での看護をお願いします。

	登所を控えるのが望ましい場合	保育所に登所可能な場合
発熱時	<ul style="list-style-type: none"> * 発熱期間と同日の回復期間が必要 • 朝から 37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い。 • 食欲がなく朝食、水分が摂れていない • 24 時間以内に解熱剤を使用している • 24 時間以内に 38℃以上の熱が出ていた * 1 歳以下の乳児の場合（上記の症状にプラスして） • 平熱より 1℃以上高いとき（38℃以上あるとき） 	<ul style="list-style-type: none"> * 前日 38℃を超える熱が出ていない • 熱が 37.5℃以下で、元気があり機嫌がよい • 顔色がよい • 食事や水分が摂れている • 24 時間以内に解熱剤を使っていない • 24 時間以内に 38℃以上の熱は出ていない • 発熱を伴う発しんが出ていない • 排尿の回数が減っていない • 咳や鼻水を認めるが増悪していない
下痢の時	<ul style="list-style-type: none"> • 24 時間以内に 2 回以上の水様便がある • 食事や水分を摂ると下痢がある（1 日に 4 回以上の下痢） • 下痢に伴い、体温がいつもより高めである • 朝、排尿がない • 機嫌が悪く、元気がない • 顔色が悪くぐったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> * 感染のおそれがないと診断されたとき • 24 時間以内に 2 回以上の水様便がない • 食事、水分を摂っても下痢がない • 発熱が伴わない • 排尿がある
嘔吐の時	<ul style="list-style-type: none"> • 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がある • 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである • 食欲がなく、水分も欲しがらない • 機嫌が悪く、元気がない • 顔色が悪くぐったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> * 感染のおそれがないと診断されたとき • 24 時間以内に 2 回以上の嘔吐がない • 発熱がみられない • 水分摂取ができ食欲がある • 機嫌がよく元気である • 顔色が良い
咳の時	<ul style="list-style-type: none"> * 前日に発熱がなくても • 喘鳴や呼吸困難がある • 夜間しばしば咳のために起きる • 呼吸が速い • 37.5℃以上の熱を伴っている • 元気がなく機嫌が悪い • 食欲がなく朝食、水分が摂れない • 少し動いただけで咳が出る 	<ul style="list-style-type: none"> * 前日 38℃を超える熱は出ていない • 喘鳴や呼吸困難がない • 続く咳がない • 呼吸が速くない • 37.5℃以上の熱を伴っていない • 機嫌がよく、元気である • 朝食や水分が摂れている
発しんの時	<ul style="list-style-type: none"> • 発熱とともに発しんがあるとき • 今までになかった発しんが出て、感染症が疑われ、医師より登所を控えるよう指示されたとき • 口内炎のため食事や水分が摂れないとき • とびひの場合 顔等で患部を覆えないとき 浸出液が多く他児への感染の恐れがあるとき かゆみが強く手で患部を掻いてしまうとき 	<ul style="list-style-type: none"> * 受診の結果、感染の恐れがないと診断されたとき

※ 医師が記入した意見書が必要な感染症があります。

※ 意見書の用紙は保育所にありますが、市のホームページからもダウンロードできます。